

4-3 伊豆半島付近の地震活動 (1993年11月～1994年1月)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (November, 1993—January, 1994)

東京大学地震研究所
地震予知移動観測室 (地震観測班)
地震予知観測室

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

第1図 a～c は伊豆半島およびその周辺の各月の地震活動を示す。第2図は1993年11月～12月の震央分布を示す。第3図は1993年10月から1994年1月までの各月の伊豆半島伊東付近を中心とした地震活動を示す。伊東市付近では、1993年10月中旬より内陸部で群発地震活動が発生し始めた。その震央分布は、大室山から北西方向に向い約15kmにわたり延びる線状の配列を示す。この活動はM1～2クラスの地震ながら1994年1月現在まで続いている。また宇佐美から手石海丘をへてその南東沖まで延びる全長約15kmの震央分布リニアメントが認められる。

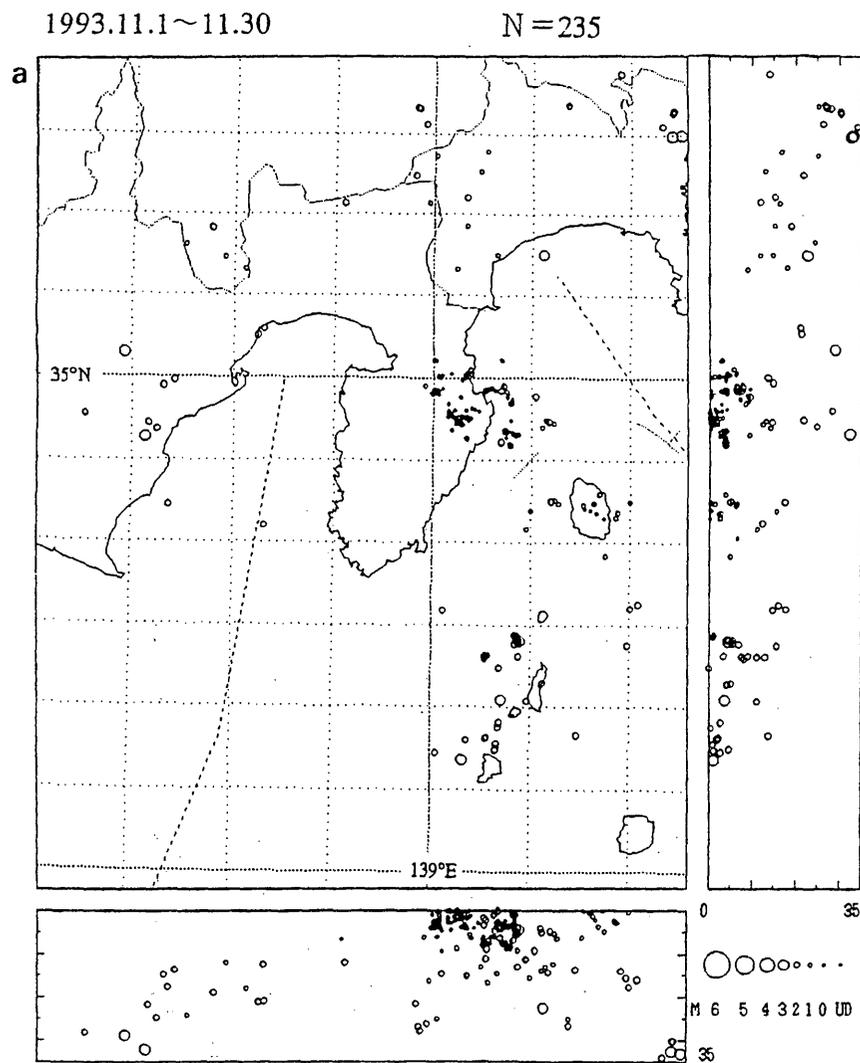
2) 新島・神津島:

主な地震は、

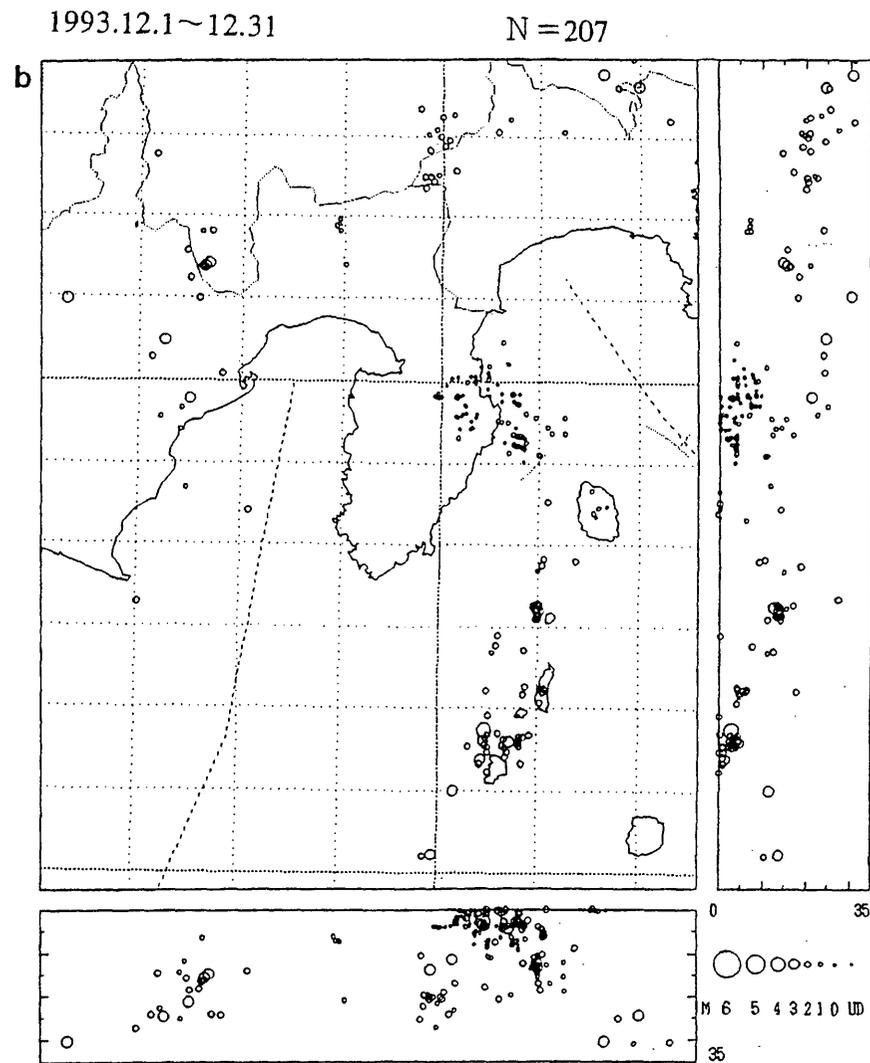
1993年	12月4日	13:18	新島北西沖	M3.1
	12月10日	06:04	式根島付近	M3.4
	12月21日	05:23	神津島南西沖	M3.1
	12月22日	16:30	式根島付近	M3.8
	12月30日	22:05	神津島付近	M3.3
1994年	1月4日	20:44	式根島付近	M3.1
	1月5日	06:26	式根島付近	M3.0
	1月5日	03:47	式根島付近	M3.5
	1月6日	02:02	三宅島西方沖	M3.2
	1月12日	19:05	式根島付近	M3.1
	1月13日	12:12	三宅島北西沖	M3.0
	1月14日	03:18	新島付近	M3.3
	1月24日	01:26	神津島付近	M3.0
	1月29日	22:48	神津島南西沖	M3.2
	1月31日	19:55	神津島南岸	M2.9

である (第4図)。

これらの地震は、海底地形、単成火山の配列に支配された震央分布を示す。



1993年11月1日～11月30日の震源分布図



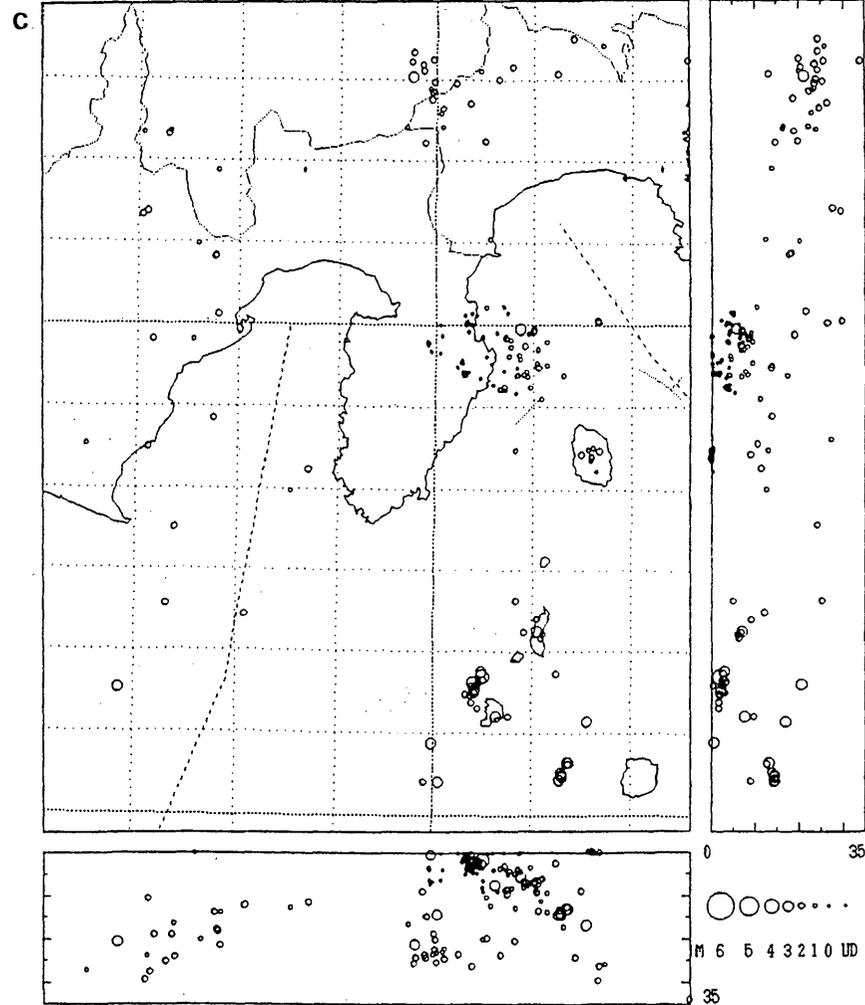
1993年12月1日～12月31日の震源分布図

第1図 伊豆半島とその周辺の月別の地震活動（1993年11月～1994年1月）

Fig.1 Seismicity in and around the Izu Peninsula (November, 1993–January, 1994).

1994.1.1~1.31

N=191



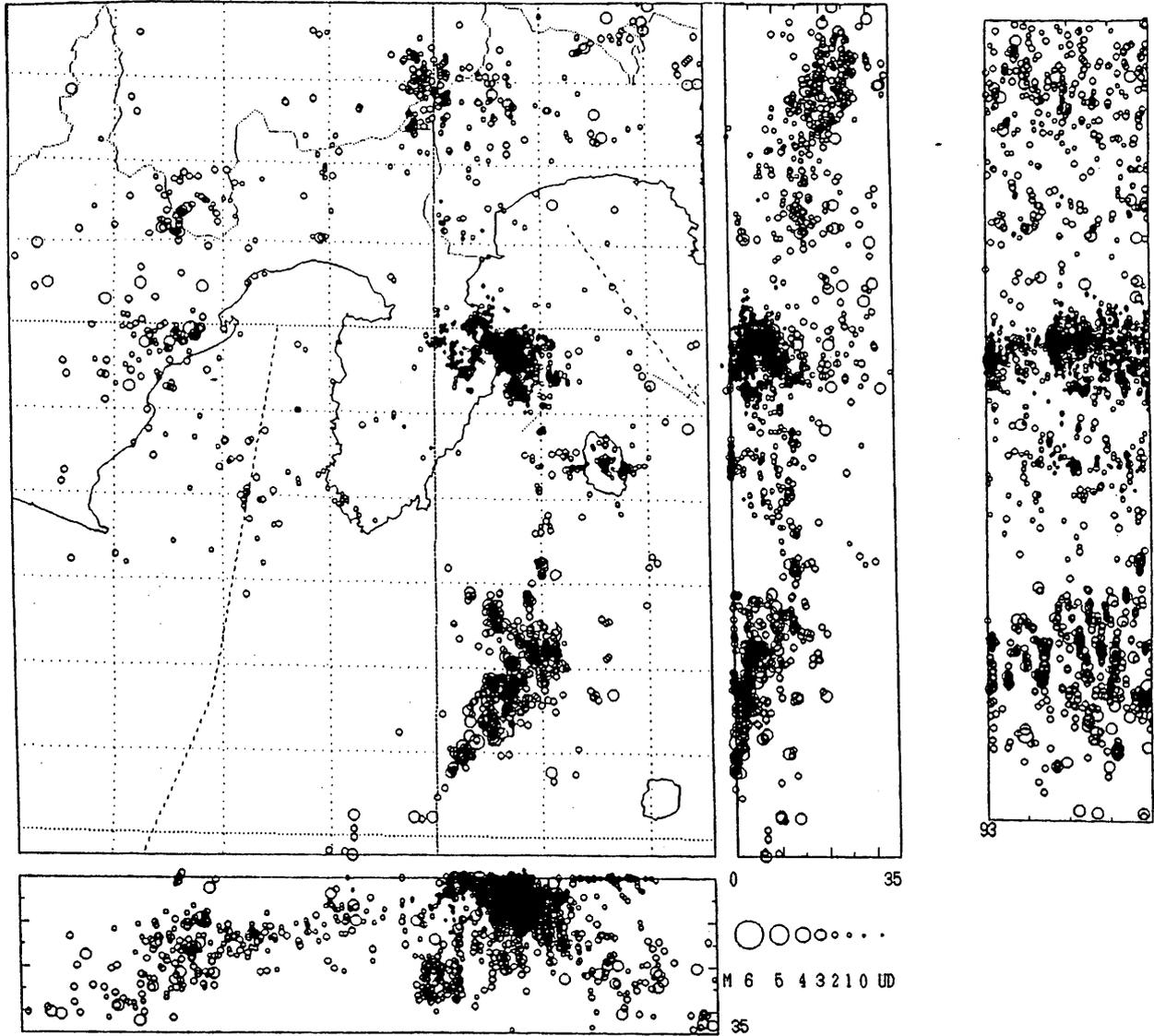
1994年1月1日~1月31日の震源分布図

第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

1993.1.1~12.31

N=4523

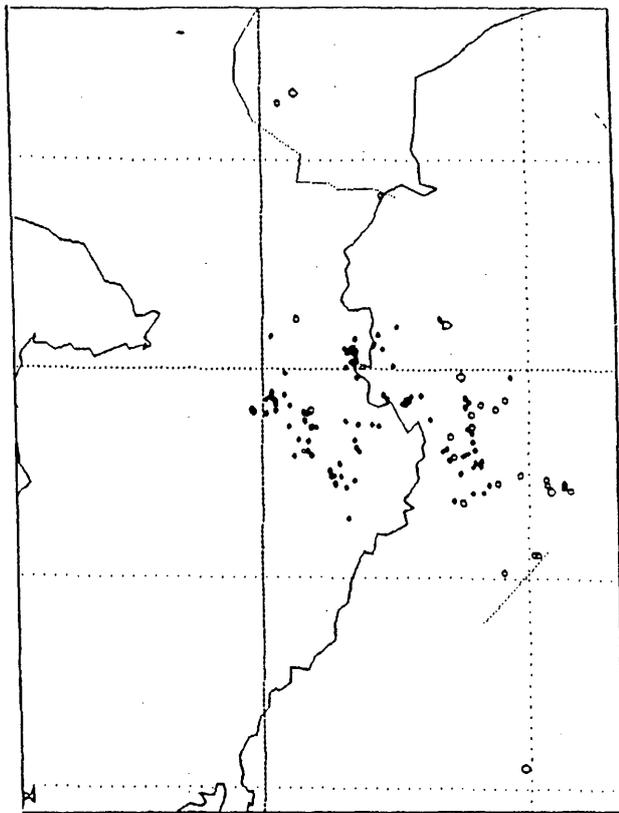


1993. 1.1 ~ 12.31の震源分布図

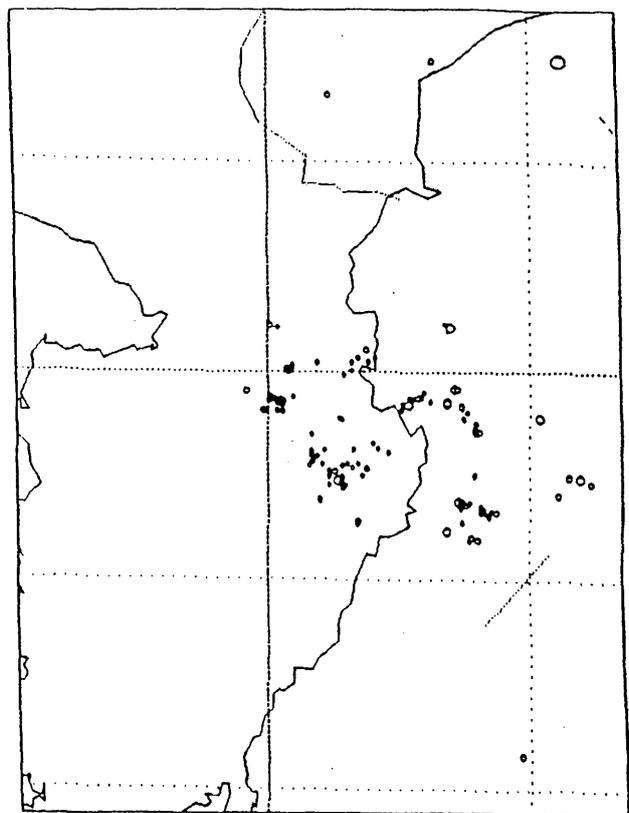
時空間分布図

第2図 伊豆半島とその周辺の地震活動(1993年1月~12月)

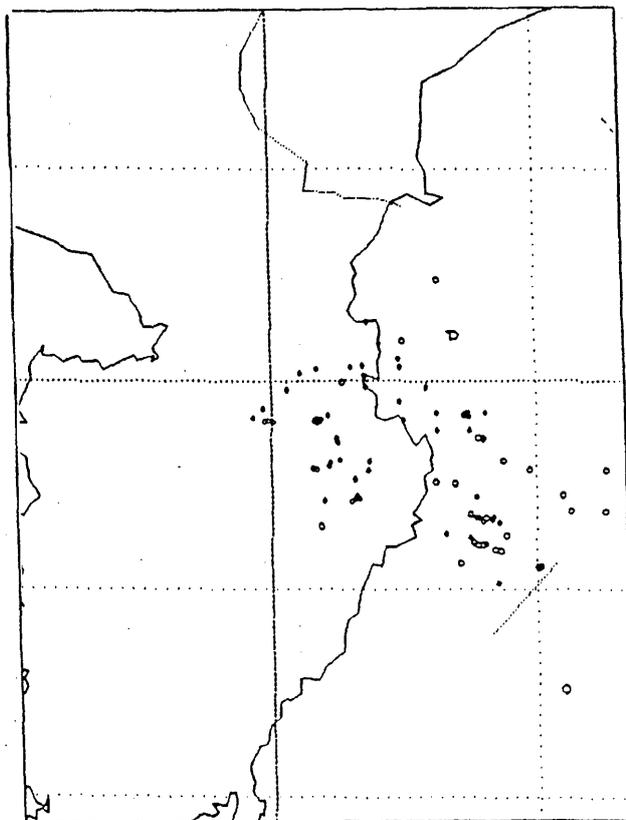
Fig.2 Seismicity in and around the Izu Peninsula (January-December, 1993).



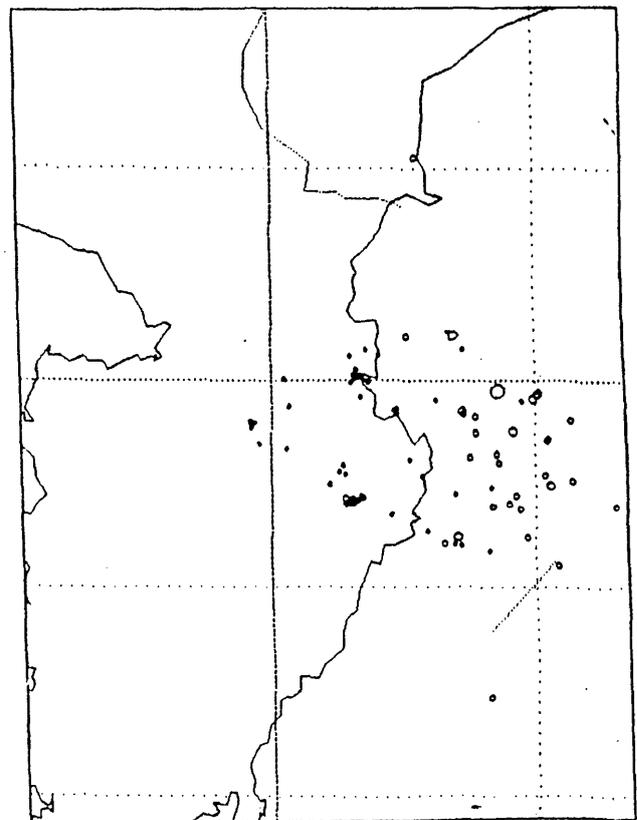
93. 10.1 ~ 10.31



93. 11.1 ~ 11.30



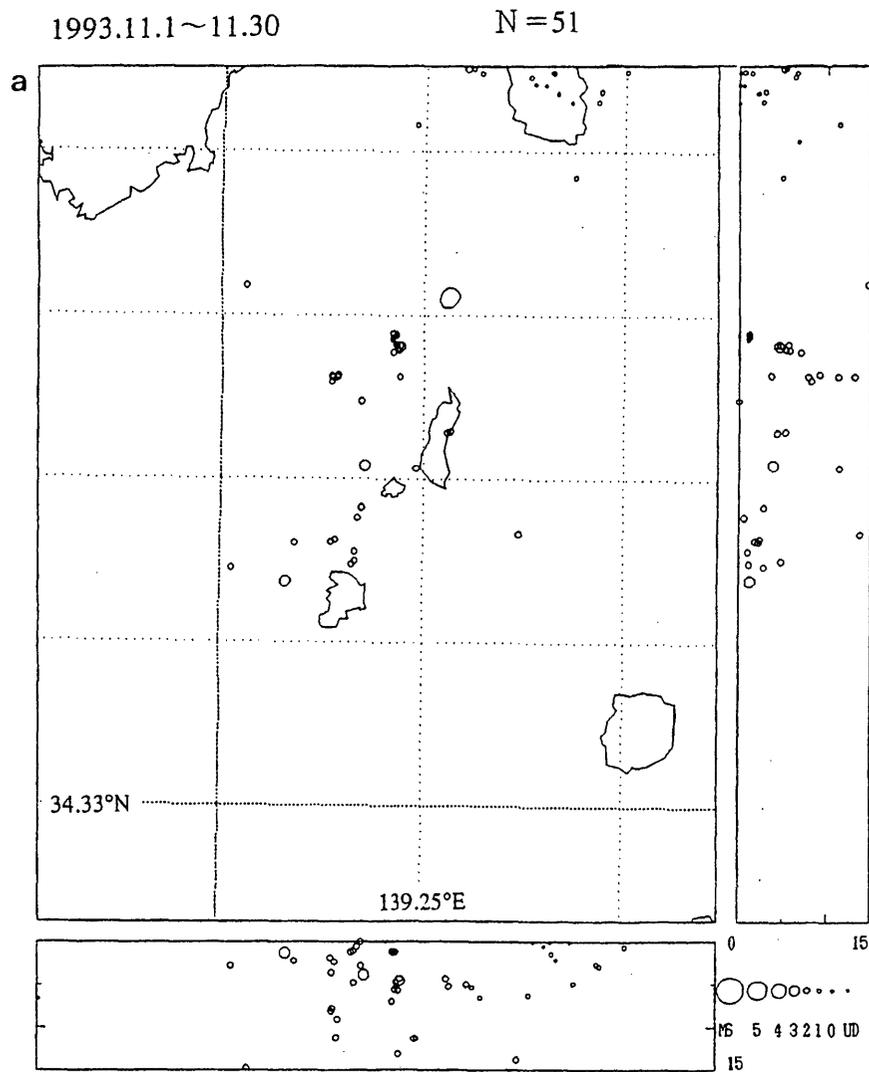
93. 12.1 ~ 12.31



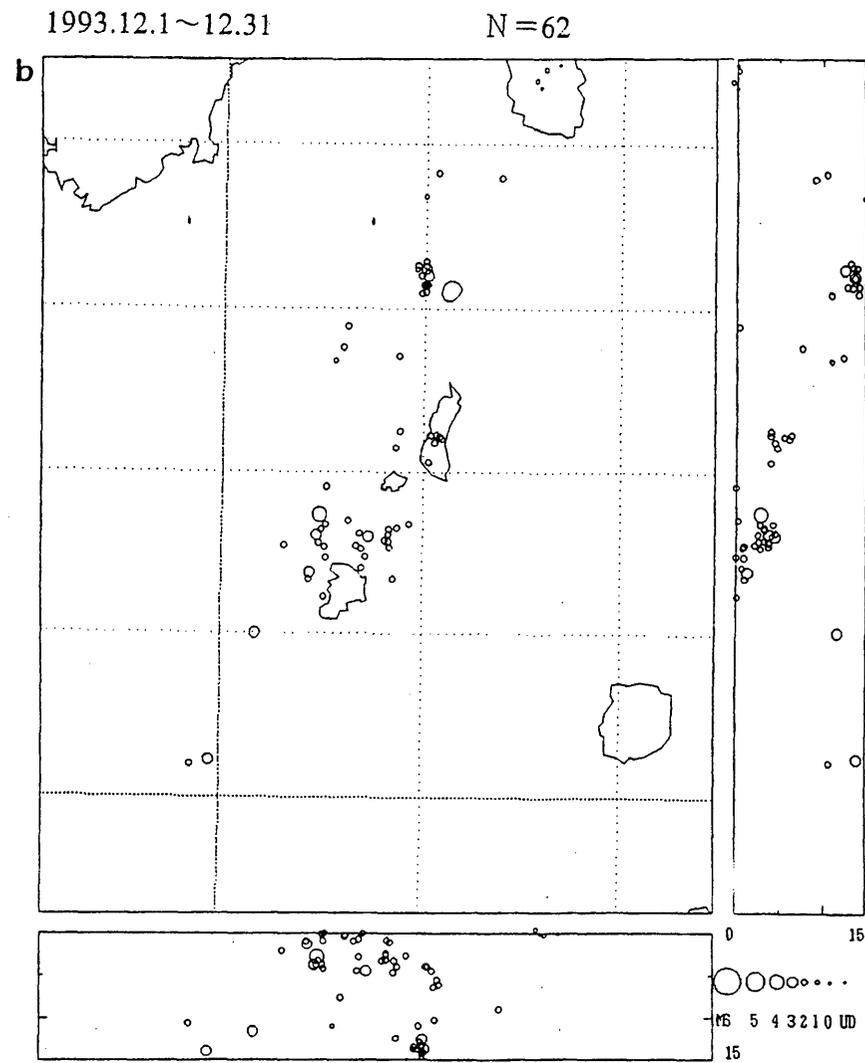
94. 1. 1 ~ 1.31

第3図 伊豆半島東部の地震活動 (1993年10月~1994年1月)

Fig.3 Seismicity in the eastern part of the Izu Peninsula (October, 1993—January, 1994).



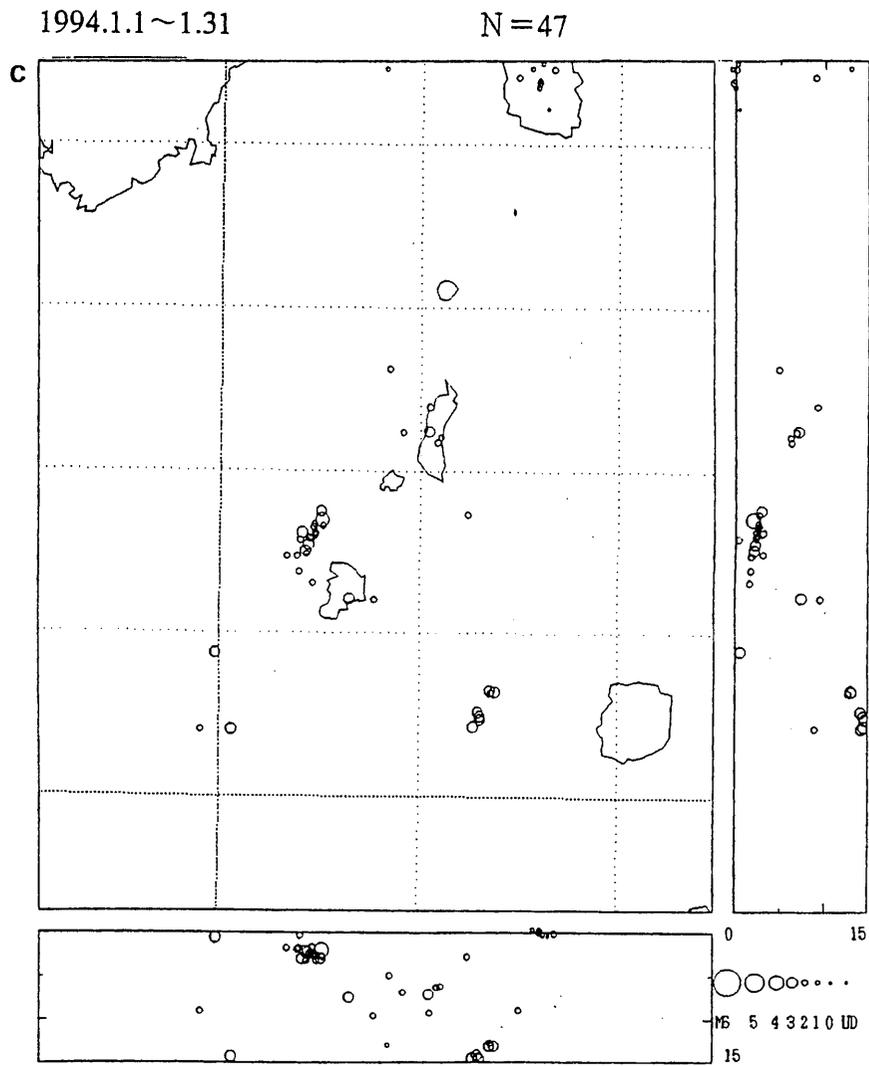
1993年11月1日~11月30日



1993年12月1日~12月31日

第4図 新島・神津島付近の地震活動 (1993年11月~1994年1月)

Fig.4 Seismicity in and around the Niijima and the Kozusima Islands (November, 1993—January, 1994).



1994年1月1日~1月31日の新島、神津島の震源分布図

第4図 つづき

Fig.4 (Continued)